

滋賀森林インストラクター会

会報・第13号

2013年11月26日



センブリ（栗東市金勝にて2013. 10. 18）

目次

1. マキノみくまり(水分)塾の報告	小西 民人	2~3 頁
2. 第8回森づくり交流会出展報告	佐々木 建雄	3~4 頁
3. 伊香森林組合における林業研修会	事務局	4~5 頁
4. 台風18号の豪雨による被害	高橋 優	6~7 頁
編集後記		8 頁

～マキノみくまり(水分)塾の報告～

小西 民人

2013年度の研修は、会場をマキノに移し、みくまり塾1年目として奇数月に実施しました。5月・7月・9月・11月の4回でした。その総括的な報告をします。詳しい報告はそれぞれの会の開催報告をご覧ください。次の表は実施日および参加者名一覧です。参加協力ありがとうございました。

	内容	実施日・人数	参加者名
第1回みくまり塾 総勢17人	下見の下見	4/19 1人	小西(コース選定のため実施)
	下見	4/28 10人	佐々木、梶谷、高橋、清水、高田、小西、 以下京都会 篠部、水口、久山、関澤
	本日	5/12 13人	佐々木、梶谷(2)、高橋、清水、満井、中村、 水田、平田、上萩、下川、小西、関澤(京都)
第2回みくまり塾 総勢10人	下見	6/30 3人	高橋、小西、関澤(京都)(コース確認)
	本日	7/14 10人	佐々木、梶谷、高橋、清水、満井、高田、 水田、小西、関澤(京都)、橋木(奈良)
第3回みくまり塾 総勢7人	下見	9/1 台風で中止	
	下見	9/6 1人	小西(台風の影響確認のため実施)
	本日	9/8 7人	梶谷、高橋、清水、平田、小西 関澤(京都)、橋木(奈良)
第4回みくまり塾 総勢8人	下見の下見	10/21 3人	小西、関澤(京都)、橋木(奈良) (台風18号の土砂崩れ確認のため実施)
	下見	11/5 体調不良で中止	
	本日	11/10 6人	佐々木、梶谷、高橋、清水、水田、小西

4回の研修で確認できた植物は、**木本(樹木) 117種、草本 75種、計 192種**です。

来年度は偶数月。4月から始めて、6月、8月、10月、(12月)、年間4(5)回開催の予定です。今期最後の4回目は台風の影響で黒河峠まで車で入れない状況になり、舗装路の終わるところから歩いて登りました。そのため、今まで車で通り過ぎていたところをじっくりと観察でき、新たな木や多くの果実をつけた樹木を見ることができました。黒河峠までの未舗装部分は2.1kmあり、ゆっくり歩くと当初予定の明王禿までは到底辿り着けないので、黒河峠かその周辺までを目標に歩きました。10月21日の下見の時は黒河峠から砂防工事のための林道を終点まで歩き、キンコウカの多い湿地をさらに2箇所ほど確認しました。上にある三国山湿原より規模が大きいようで、次年度の春から夏にかけてこのコースを歩くとさらに成果が上がりそうな気がします。大きなコース変更になりますが、検討してみる価値はあると思います。

次の写真は黒河峠から福井県側に見えるブナ林の季節変化です。



4月28日



7月14日



10月21日

～第8回森づくり交流会出展報告～

佐々木 建雄

滋賀県主催の表題イベントが10月5日(土)彦根市荒神山公園にて実施され、滋賀会も参加、これで連続6回目の出展となりました。

琵琶湖と人々の暮らしを支えるため、森づくりについて県民がこれまで以上に理解を深め、関心を高めるための機会とし、さらに県民の森づくり活動に対する気運を高めようとする目的のために、毎年開催されているものです。

当会からの参加者は、浅香、梶谷、小西、佐々木、下川、高橋、中川、中村の8名。心配された雨も朝のうちだけで、荷物搬入の頃にはすっかり上がり、交流会日和となりました。

今年の滋賀会の出展テーマは「**ドングリと木の实**」とし、毎年の呼び物である「**きのこ汁**」は、80食(昨年の実績は60食)の売り上げを目標に準備をしました。

昨年は、きのこ汁の販売スタート時間である11時半に出



来上りが間に合わず、お客さんを待たすという苦い経験があったので、今年は早い時間から火をおこし、準備万端の体制で臨みました。

出来上りは上々、懸命の売り声も功を奏したのか、売り上げは着実に伸び、目標を上回る91食を売り上げることができました。



子どもを呼ぶにはドングリがイチバン

一方、滋賀会ブースへも多くの来場者があり、大きなトチの実に驚いたり、ドングリを手にとって見たりと興味津々の様子でした。なかには親子でドングリクイズに挑戦し、難問に悪戦苦闘する場面も。しかし、正解も不正解も、ドングリのお土産つき。明日の森づくりを担う子どもを大事にしておこなうては・・・の思いです。さて、来年のテーマは？

～伊香森林組合における林業研修会～

事務局(中村理事の報告書に基づき執筆)

平成25年10月19日(土)の午後、中村栄一理事の企画による林業研修会が開かれました。長浜市の伊香森林組合に協力をいただいて、伊香森林組合や林業の現状の講義を受け、つぎに間伐現場に移動し、重機を使った間伐作業の実演を見せていただきました。さらに、重機を使うためには林道の整備が必須ですが、低コストの林道づくり「四万十式作業道」を現場の林道を見ながら説明を受けることができました。

参加者は、中村担当理事をはじめ佐々木会長、中川、小西、清水、下川、高橋。会員外から2名の計9名。





ハーベスタの枝払いと玉切作業



ハーベスタヘッド

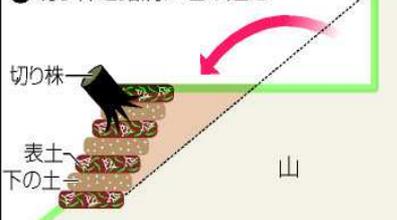


玉切りした間伐材を **グラップル** で掴み、**フォワーダ** に積み込む作業。
(奥の重機は **ハーベスタ**)



四万十式作業道の造り方

- ① 重機で山を削る
- ② 草木を含む表土と下の土を交互に重ねる
- ③ 切り株を路肩に埋め込む



四万十式作業道は、高知県四万十町(旧大正町)の林業担当職員だった田辺さんらが1996年ごろに考案した。

林業の衰退で手入れされない人工林が増える中で、低コストの作業道が必要だったが、従来の作業道は、材木の搬出にも耐えられる強度にするため、道をコンクリートで固めたり砂利を敷いたりすることが多かった。四万十式では、設置現場に生える植物の根や葉を含む表土と、表土の下にある土とを交互に積み重ねて強度を保つのが特徴であり、重機で踏み固めれば、表土にある植物の繊維質と土が絡み合っ崩れにくく、路肩は木の根株も埋め込み強化する。

削った土を山の外に捨てないため、設置コストは1メートルあたり2千円程度で、砂利や丸太で造る従来の作業道の5分の1、コンクリート舗装した林道と比べれば、50分の1程度ですむという。外部から一切、材料を持ち込まないため、生態系への影響も少なくできる。

～台風18号の豪雨による被害～

高橋 優

今年は台風の当たり年です。日本に接近した数が多いだけでなく、台風がもたらした豪雨による被害が甚大で、日本各地で土砂崩れや河川の氾濫のニュースを耳にしました。伊豆大島の豪雨の大災害は記憶に新しいところです。

滋賀県の被害も大きく、特に9月16日東海地方に上陸した台風18号は、近畿、北陸地方にも大雨を降らせ、気象庁は滋賀、京都、福井の3府県に史上初の「大雨特別警報」を発表し、「経験したことのない大雨が予想されるので、直ちに命を守る行動を取るように」と呼びかけました。実際に栗東市では土砂崩れにより亡くなられた方がおられます。死傷者が出ない土砂崩れや氾濫は数知れず、県内いたるところで道路が分断され通れなくなっています。台風通過から2か月以上過ぎた現在でも、瀬田川支流大戸川沿いの県道16号大津信楽線は通行できません。ほかにも修復ができず通れない道があることと思います。

滋賀会が森林インストラクターとして活動する森や山の道も土砂崩れや崩落が起きています。今号で小西さんから報告のあった「みくまり塾」の黒河峠に通じる山道も崩れ落ちてきた土砂と樹木で狭まり、激しい雨の流れでえぐられ、車が通れなくなっています。来期はコースの変更が必要かもしれません。



黒河峠への林道土砂崩れ



えぐれた林道

滋賀会の活動フィールドのひとつ、「近江湖南アルプス自然休養林」の一丈野の森でも豪雨による大きな被害を受けています。オランダ堰堤沿いの山路は溢れた川の激流でえぐられ大穴があき、散策路「たまみずきの道」は各所で土砂崩れで埋もれ、谷側で崩落が起きていました。その状況から、11月末にここで計画されていた「森とのふれあい学び塾」の開催が危ぶまれましたが、



たまみずきの道 土砂で埋没

オランダ堰堤沿いの道の修復工事が進んで、なんとか開催ができそうです。しかし、「たまみずきの道」はまだ復旧できず通れない状況です。



山側からの土砂崩れ



谷側の崩落

このように、台風18号がもたらした豪雨は当会の活動場にまでその爪痕を残しています。それぞれの現場で、復旧を期待しますが、このような自然の猛威による攪乱も森林のひとつの姿です。インストラクションの材料になるかもしれません。

編集後記

会報第13号（2013年度上半期号）をお届けします。

予定よりひと月遅れの発行です。上半期、県の委託事業がなくなった影響で滋賀会の事業がほとんどなく、掲載記事の少ない会報となりました。10月以降の活動実績を盛り込んでようやく発行することができた幸いです。

今号では、前号に引き続き中村栄一さんからのレポートに基づき、伊香森林組合の林業重機を使った実作業を林業研修会として開催したことを記事にさせていただきました。さまざまな問題を抱える林業経営ですが、迫力あるハーベスタの働きを見学させていただき、林業再生への道筋を垣間見た気がします。

上期の活動の中心である研修会「みくまり塾」も11月10日の第4回で無事終了し、研修担当の小西さんにまとめの報告をしていただきました。ありがとうございます。

（高橋）